

中国語学中国文学専攻分野

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
中国語学中国文学特論Ⅰ	唐詩と唐代社会(胡曾の《詠史詩》)	2	馬 曉地	1学期	火	4	1
中国語学中国文学特論Ⅱ	唐詩と唐代社会(胡曾の《詠史詩》)	2	馬 曉地	2学期	火	4	2
中国語学中国文学特論Ⅲ	中国の詩学	2	川合 康三	集中(1学期)			3
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	佐竹 保子 土屋 育子 矢田 尚子	1学期	月	5	4
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	中国の通俗文学を読む	2	土屋 育子	1学期	水	5	5
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	中国当代文学研究	2	馬 曉地	1学期	木	2	6
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	1学期	金	1	7
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	佐竹 保子 土屋 育子 矢田 尚子	2学期	月	5	8
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	中国の通俗文学を読む	2	土屋 育子	2学期	水	4	9
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	中国当代文学研究	2	馬 曉地	2学期	木	2	10
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	2学期	金	1	11
課題研究 (中国語学中国文学)		4	佐竹 保子 土屋 育子 矢田 尚子	通年	月	4	

科目名：中国語学中国文学特論Ⅰ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅰ

曜日・講時：前期 火曜日 4講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LM12403， 科目ナンバリング：LHS-LIT612J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

唐詩と唐代社会（胡曾の《詠史詩》）

2. Course Title（授業題目）：

On Tang poetry

3. 授業の目的と概要：

晩唐時代の詩人胡曾は上古から隋時代までの歴史を詠じる百五十首の詠史詩を作りました。これらの作品を一首一首精読し、詩の美しさを味わいながら、中国の歴史を勉強する。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。授業中に中国語で大量の詩文を読むので、受講生は二年以上中国語学習歴を有することが望ましい。

4. 学習の到達目標：

唐詩の読解力を高める。特に中国語で唐詩及び文章を読む能力を養成すること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 中国古代の詠史詩について
- 第2回 同上
- 第3回 唐代の詠史詩
- 第4回 同上
- 第5回 同上
- 第6回 同上
- 第7回 同上
- 第8回 詩人胡曾と彼の《詠史詩》
- 第9回 同上
- 第10回 同上
- 第11回 《詠史詩》精読
- 第12回 同上
- 第13回 同上
- 第14回 同上
- 第15回 まとめと復習

6. 成績評価方法：

レポート（50％） 出席（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LM22402， 科目ナンバリング：LHS-LIT613J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

唐詩と唐代社会（胡曾の《詠史詩》）

2. Course Title（授業題目）：

On Tang poetry

3. 授業の目的と概要：

晩唐時代の詩人胡曾は上古から隋時代までの歴史を詠じる百五十首の詠史詩を作りました。これらの作品を一首一首精読し、詩の美しさを味わいながら、中国の歴史を勉強する。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。授業中に中国語で大量の詩文を読むので、受講生は二年以上中国語学習歴を有することが望ましい。

4. 学習の到達目標：

唐詩の読解力を高める。特に中国語で唐詩及び文章を読む能力を養成すること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 中国古代の詠史詩について
- 第2回 同上
- 第3回 唐代の詠史詩
- 第4回 同上
- 第5回 同上
- 第6回 同上
- 第7回 同上
- 第8回 詩人胡曾と彼の《詠史詩》
- 第9回 同上
- 第10回 同上
- 第11回 《詠史詩》精読
- 第12回 同上
- 第13回 同上
- 第14回 同上
- 第15回 まとめと復習

6. 成績評価方法：

レポート（50％） 出席（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学特論Ⅲ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期集中

学期：集中（1学期）、単位数：2

担当教員：川合 康三（非常勤講師）

講義コード：LM98803、科目ナンバリング：LHS-LIT614J、使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国の詩学

2. Course Title（授業題目）：

Chinese Poetics

3. 授業の目的と概要：

中国古典詩の特質を考察する。

個々の作品及び詩人に関する研究には、すでに中国・日本・西欧に大きな蓄積があるが、中国古典詩の全体を貫く特質について、西欧・日本の詩とも比較しつつ考える。

4. 学習の到達目標：

中国古典詩全般に対する理解を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

詩作品及び詩に関する言説を取り上げながら、それをもとに講述する。講義形式で行うが、随時、意見の提起を歓迎する。

- 1 詩とは何か、詩学とは何か。
- 2 中国古典詩の特質 1—道徳性
- 3 中国古典詩の特質 2—政治性
- 4 中国古典詩の特質 3—社会性
- 5 中国古典詩の担い手
- 6 恋愛の詩と友情の詩
- 7 女たちの文芸
- 8 伝統の一貫性
- 9 伝統の変容
- 10 詩と感情
- 11 詩と景物
- 12 人生の詩・靈感の詩
- 13 詩の動機
- 14 事実と虚構
- 15 詩の存在意義

6. 成績評価方法：

授業中の発言（50%）

レポート（50%）

7. 教科書および参考書：

教科書：資料を配付する。

参考書：川合康三『中国名詩選（上中下）』（岩波文庫）

8. 授業時間外学習：

前もって配布する資料を各自読んでおくこと。

9. その他：

積極的に発言することを求める。発言の正否は問わない。

科目名：中国語学中国文学研究演習 I / Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)I

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：佐竹 保子， 土屋 育子， 矢田 尚子（教授、准教授）

講義コード：LM11502， 科目ナンバリング：LHS-LIT615J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国語学史中国文学史上の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Chinese Language and Literature

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。

発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. 学習の到達目標：

上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

6. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

7. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

8. 授業時間外学習：

発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。

発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅰ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 水曜日 5講時

学期：1学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（准教授）

講義コード：LM13503， 科目ナンバリング：LHS-LIT615J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

中国の通俗文学を読む

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得することを目的とします。授業は、発表と質疑応答によって進めます。

今学期は『西遊記』を取り上げます。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国近世の白話文の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を基に、白話文学作品がどのように変遷してきたかを理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答（1）
4. 発表と質疑応答（2）
5. 発表と質疑応答（3）
6. 発表と質疑応答（4）
7. 発表と質疑応答（5）
8. 発表と質疑応答（6）
9. 発表と質疑応答（7）
10. 発表と質疑応答（8）
11. 発表と質疑応答（9）
12. 発表と質疑応答（10）
13. 発表と質疑応答（11）
14. 発表と質疑応答（12）
15. 発表と質疑応答（13）

6. 成績評価方法：

出席：30%

発表・授業への取り組み：70%

7. 教科書および参考書：

テキストはこちらでプリントを配布。

参考文献は授業中に指示。

8. 授業時間外学習：

辞書を用いて予習・復習することを原則とします。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習 I / Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LM14202， 科目ナンバリング：LHS-LIT615J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

中国当代文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinses modern novel

3. 授業の目的と概要：

中国当代の有名な女性作家の代表作品を選んで精読し、面白い内容と新鮮な言語表現を味わう。今年叶广芩氏の京味小説《全家福》を読む。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。

4. 学習の到達目標：

中国当代の文学作品の読解力を高めること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 中国当代女性作家と代表作品

第2回 同上

第3回 叶广芩と彼女の《全家福》

第4回 同上

第5回 同上

第6回 同上

第7回 同上

第8回 《全家福》第11章の精読

第9回 同上

第10回 同上

第11回 同上

第12回 同上

第13回 同上

第14回 同上

第15回 まとめと復習

6. 成績評価方法：

レポート（50％）、出席（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視すること。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習 I / Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)I

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（教授）

講義コード：LM15101， 科目ナンバリング：LHS-LIT615J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)
5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)
6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)
7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)
8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)
9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)
10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)
11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)
12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)
13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)
14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)
15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：佐竹 保子， 土屋 育子， 矢田 尚子（教授、准教授）

講義コード：LM21502， 科目ナンバリング：LHS-LIT616J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国語学史中国文学史上の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Studies of Chinese Language and Literature

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。

発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. 学習の到達目標：

上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

6. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

7. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

8. 授業時間外学習：

発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。

発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：土屋 育子（准教授）

講義コード：LM23401， 科目ナンバリング：LHS-LIT616J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

中国の通俗文学を読む

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得することを目的とします。授業は、発表と質疑応答によってすすめます。

今学期は出席者の希望により、取り上げる作品を決定します。

4. 学習の到達目標：

- (1) 中国近世の白話文の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を基に、白話文学作品がどのように変遷してきたかを理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

6. 成績評価方法：

出席：30%

発表・授業への取り組み：70%

7. 教科書および参考書：

テキストはこちらでプリントを配布。

参考文献は授業中に指示。

8. 授業時間外学習：

辞書を用いて予習・復習することを原則とします。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LM24202， 科目ナンバリング：LHS-LIT616J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

中国当代文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinses modern novel

3. 授業の目的と概要：

中国当代の有名な女性作家の代表作品を選んで精読し、面白い内容と新鮮な言語表現を味わう。今年叶广芩氏の京味小説《全家福》を読む。授業は輪番で報告してもらう形式で進める。

4. 学習の到達目標：

中国当代の文学作品の読解力を高めること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 叶广芩と彼女の《全家福》

第2回 同上

第3回 《全家福》第11章の精読

第4回 同上

第5回 同上

第6回 同上

第7回 同上

第8回 同上

第9回 同上

第10回 同上

第11回 同上

第12回 同上

第13回 同上

第14回 同上

第15回 まとめと復習

6. 成績評価方法：

レポート（50％）、出席（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視すること。

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：矢田 尚子（教授）

講義コード：LM25102， 科目ナンバリング：LHS-LIT616J， 使用言語：2ヵ国語以上

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文文学作品『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の解説(1)
5. 『楚辞』「離騷」の解説(2)
6. 『楚辞』「離騷」の解説(3)
7. 『楚辞』「離騷」の解説(4)
8. 『楚辞』「離騷」の解説(5)
9. 『楚辞』「離騷」の解説(6)
10. 『楚辞』「離騷」の解説(7)
11. 『楚辞』「離騷」の解説(8)
12. 『楚辞』「離騷」の解説(9)
13. 『楚辞』「離騷」の解説(10)
14. 『楚辞』「離騷」の解説(11)
15. 『楚辞』「離騷」の解説(12)

6. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

7. 教科書および参考書：

教科書については初回ガイダンスの際に指示します。参考書については授業で適時、紹介します。

8. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、疑問点・問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に反映させることができるよう理解を深めておくこと。

9. その他：